

令和5年度

事業実績報告

社会福祉法人 信濃川令終会

目 次

第1	施設の概要	1
第2	事業所別事業実績報告	
	(1) 岡 南 の 郷	
	① 特別養護老人ホーム岡南の郷	5
	② ショートステイ岡南	11
	③ デイサービスセンター岡南	14
	④ グループホームこうなん	17
	⑤ 居宅介護支援事業所岡南	20
	⑥ ケアハウス岡南	22
	(2) せ っ た や の 郷	
	① デイサービスセンターせったや	26
	② グループホームせったや	29
	(3) 看護室	31
第3	苦情受付状況	32
第4	研修の状況	34

第1 施設の概要

1 経営主体

名 称	社会福祉法人 信濃川令終会
所在地	新潟県長岡市渡沢町字早田53番地
理事長	阿部 隆夫
認可年月日	平成12年7月25日

2 施設の名称等

(1) 岡南の郷

施設の名称	サービスの種類	定員	開設年月日	指定(更新)年月日	介護保険事業者番号
特別養護老人ホーム岡南の郷	介護老人福祉施設	82名	平成13年4月9日	令和2年4月9日	1570200897
ショートステイ岡南	短期入所生活介護	11名	平成13年4月9日	令和2年4月9日	1570200905
デイサービスセンター岡南	通所介護	29名	平成13年4月9日	令和2年4月9日	1570200889
グループホームこうなん	認知症対応型共同生活介護	18名	平成14年6月1日	令和2年6月1日	1570201077
共用型デイサービスこうなん	共用型認知症対応型通所介護	6名	平成30年8月1日	平成30年8月1日	1570201077
居宅介護支援事業所岡南	居宅介護支援		平成13年4月9日	令和2年4月9日	1570200863
ケアハウス岡南	軽費老人ホームケアハウス	15名	平成13年4月9日		

(2) せったやの郷

施設の名称	サービスの種類	定員	開設年月日	指定(更新)年月日	介護保険事業者番号
デイサービスセンターせったや	通所介護	25名	平成21年4月1日	令和3年4月1日	1570202810
グループホームせったや	認知症対応型共同生活介護	9名	平成21年4月1日	令和3年4月1日	1590200224
共用型デイサービスせったや	共用型認知症対応型通所介護	3名	平成30年8月1日	平成30年8月1日	1590200224

3 施設規模

(1) 敷地面積

- ① 岡南の郷 12,770.13 m²
- ② せったやの郷 1,372.22 m²

(2) 建物面積

- ① 特別養護老人ホーム岡南の郷(ケアハウス、デイサービス等含む)
鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 延べ面積 6,446.24 m²
- ② グループホームこうなん(2ユニット)
 - 1 木造2階建 延べ面積 358.73 m²
 - 2 木造2階建 延べ面積 372.43 m²
- ③ せったやの郷(デイサービス、グループホーム)
鉄骨造合金メッキ鋼板葺2階建 延べ面積 711.26 m²

4 設備内容

(1) 岡南の郷

施設名	居室	設備
特別養護老人ホーム	個室 46 4人部屋 9	サービスステーション、事務室、相談室、洗濯室、宿直室、調理室、食堂、特別浴室、静養室、医務室、機能訓練室
ショートステイ	個室 7 4人部屋 1	
デイサービスセンター		事務室、食堂、特別浴室、一般浴室、事務室、休養コーナー
グループホーム (2ユニット)	1 個室 9	居間、食堂、台所、浴室
	2 個室 9	居間、食堂、台所、浴室
ケアハウス	個室 15	事務室、食堂、一般浴室、相談室、洗濯室、図書コーナー、レストコーナー

(2) せったやの郷

施設名	居室	設備
デイサービスセンター		事務室、食堂、特別浴室、一般浴室、事務室、休養コーナー
グループホーム	個室 9	居間、食堂、台所、浴室

5 協力病院

新潟厚生連 長岡中央総合病院
医療法人誠心会 吉田病院

6 嘱託医

田中 直行
江部 佑輔

7 職員数

令和6年3月31日 現在

事業所名	事務長 施設長	副事務長 副施設長	管理者	生活相談員		看護職員 保健師			機能訓練指導員			介護職員			介護支援専門員 計画作成担当者	事務員 栄養士			その他		計
	正	正	正	正	臨時	正	臨時	パート	正	臨時	パート	正	臨時	パート	正	正	臨時	パート	臨時	パート	
法人本部	2															5		1	2	11	21
岡南の郷	特別養護老人ホーム岡南の郷 ショートステイ岡南	1	1		2		4		3	1		1	35	2	6	2					58
	デイサービスセンター岡南	(兼1)		1	1		1		4	2			6	2	2					5	24
	グループホームこうなん	(兼1)		1									10		3					1	16
	居宅介護支援事業所岡南			1												4					5
	ケアハウス岡南	(兼1)		1					1							2					4
せったやの郷	デイサービスセンターせったや	(兼1)		1	1		1		3	1			3	3	3					4	20
	グループホームせったや			1									6		1						8
計	3	3	5	4	0	6	1	10	4	0	1	60	7	17	6	5	0	1	2	21	156

正職員	96
臨時職員	10
パート職員	50
計	156

第2 事業所別事業実績報告

(1) 岡南の郷

① 特別養護老人ホーム岡南の郷

1 利用状況

(1) 月別入退所状況

		月												計	平均
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
入所	男	1	0	0	1	1	1	0	3	2	3	1	0	13	1.08
	女	1	2	1	3	5	1	2	2	6	2	1	0	26	2.16
退所	男	0	0	0	2	0	1	0	3	3	2	0	0	11	0.91
	女	1	2	2	4	3	1	4	3	4	3	0	2	29	2.41
月末入所者数		82	82	81	79	82	82	80	79	81	80	82	80	970	80.83

(2) 介護度別入所者

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均
R6.3.31	0	0	9	34	37	80	4.35
%	0.0%	0.0%	11.3%	42.5%	46.3%		
R5.3.31	0	0	8	23	50	81	4.51
R4.3.31	0	0	4	33	45	82	4.50

(3) 年齢別入所者

年齢	60	65	70	75	80	85	90	計	平均年齢
	~64	~69	~74	~79	~84	~89	以上		
R6.3.31	0	3	5	10	13	14	35	80	86.6 歳
%	0.0%	3.8%	6.3%	12.5%	16.3%	17.5%	43.8%		
R5.3.31	0	0	4	12	10	17	38	81	87.5 歳
R4.3.31	0	1	5	6	12	28	30	82	87.2 歳

2 重点施策

特養共通

(1) 平均入所率向上と平均空床期間の短縮

平均入所率は98.7%と目標を達成できたが、平均空床期間は11.8日と達成には至らなかった。空床期間長期化の要因として、11月15日～1月14日の約2か月間に16名の退所（年間退所者の4割）が集中したことで年末年始を挟んだことが挙げられる。入所内定者には、紹介状を待たずに入所を進められるように診療情報提供書の事前提出を求め、空床期間短縮に取り組む。

(2) デジタル・トランスフォーメーションの推進

職員間の連携強化・眠りSCANとの連動を目的にクリアトークカムを導入した。導入効果として、職員を探す手間や内線電話の取り次ぎ、眠りSCAN検知時のモニター確認といった細かなタイムロスが削減され、業務の効率化が図られた。現時点では介護・看護職員が使用しているが、相談室との連携強化にもニーズがあるため、導入を検討していきたい。

事故分析において、職員の死角での転倒・転落や脱衣時に内出血が発見される件数が全体の7割を超え、対応策の検討に苦慮するケースが多くなっている。発生状況を確認し、予測ではなく実践的な対応策を講じるため見守りカメラの導入を進めている。職員の心理的負担の軽減だけでなく、事故再発防止による利用者の生活の質の向上に結び付けたい。

今後も機器の導入により業務改善や生活の質の向上を図るため、情報収集に努めて施設のニーズに合致する機器の導入を検討していく。

(3) 業務の標準化

介護プロフェッショナルキャリア段位制度を基に、アセッサー（評価者）が中心となって業務評価基準を作成し、初任～中堅職員の介護業務の評価を始めている。介護業務の評価を順次行いつつ、主任・副主任等が評価者となって業務評価ができるよう理解を深め、客観的評価システムを構築していく。

全国的に見てもアセッサーと比較してレベル認定者の数は少ないため、希望者にはレベル認定を推奨していく。

(4) プリセプター制度による人材育成

新入職員に対してプリセプター制度を導入し、新入職員と指導職員及び指導職員同士のコミュニケーションに重点を置いた指導に取り組んだ。また、管理職も定期面談と成長度合いに応じて随時面談を行い、情報共有を図りながらチームとして指導・育成に取り組んだ。新入職員の成長だけでなく、指導することで自分自身の振り返りや教え方・伝え方を考える機会となり、指導職員の成長にも繋がった。

(5) 感染予防策の徹底と発生時の対応

標準予防策の徹底と法人行動指針の順守に努め、入所者の新型コロナウイルス感染は発生しなかった。また、入所者1名のインフルエンザA型感染が確認されたが、迅速な初動対応により感染拡大は起こらなかった。

これまでの感染症対策を基にBCP（事業継続計画）を作成し、また、法人感染対策委員会の研修を通してガウンテクニック等のシミュレーションを行った。感染症が発生した場合にはBCPによる対応を行い、振り返りを通して内容の見直しを行っていく。

新型コロナウイルスの類型変更及び生活様式の緩和により、職員個人の対策では回避できないリスクがある。標準予防策の徹底は継続しつつ、施設内に持ち込まないよう日々の体調確認と体調変化時の早期受診に努める。

(6) 感染症流行状況に応じた面会やボランティア等の体制の見直し

新型コロナウイルス感染症が5類に変更となり、施設内での予約制面会を継続しつ

つ、ワクチン接種条件の廃止や看取り面会の居室対応等の緩和を行った。家族等からの面会ニーズが高いため、面会日数や時間、方法の変更を検討していく。

ボランティアの受け入れについても感染症対策をした上で再開準備を行ったが、先方の体調不良により実現には至らなかった。また、小中学校の総合学習の受け入れに関しては、職員が講師として訪問し、高齢者疑似体験や車いす操作を行った。今後も情勢に応じて受け入れを行っていききたい。

(7) ハラスメント対策

ハラスメント行為を受けたと感じた場合に、誰に相談し、どのように対応するかをフローチャート化して周知を図った。実際にハラスメント事案は発生していないが、職員間でのハラスメントが発生しないよう啓発を行っていく。

また、利用者や家族等からのハラスメント行為も社会問題となっているため、サービス契約書等にも具体的な対応について明記するよう準備する。

(8) 外部研修への積極的参加

職員の研修ニーズを踏まえて積極的な研修参加を勧め、30件の研修に延べ42名の職員が参加できた。外部研修も集合研修が再開されており、オンライン研修には無いメリットもあるため、内容に応じて集合研修への参加も増やしていく。

認知症介護の研修は、実践者研修・実践リーダー研修ともに1名ずつ参加し、有資格者を増やすことができた。安定的な加算算定体制を維持するために実践リーダー研修修了者を増やしていくとともに、新たに創設された認知症チームケア加算の算定に向けて、実践リーダー研修修了者が順次認知症チームケア推進研修を受講できるように準備を進めていく。

(9) 安全対策

① 事故・ヒヤリハット件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事故報告	13	19	16	7	25	20	14	16	18	13	15	21	197
ヒヤリハット	33	23	21	16	37	27	16	35	23	24	11	20	286
計	46	42	37	23	62	47	30	51	41	37	26	41	483

② 事故内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒・転落	7	9	12	5	12	11	7	9	10	4	8	8	102
誤嚥・異食(誤飲)	0	1	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1	7
誤薬・内服漏れ	1	2	1	0	5	1	1	2	4	6	2	5	30
経管栄養(抜去含む)	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
その他(痣の発見、深爪)	4	5	2	2	8	7	5	4	4	2	4	7	54
計	13	19	16	7	25	20	14	16	18	13	15	21	197

(10) フロア別

① 特養2階

副管理者が中心となって個別面談を実施し、個人やチームとしての課題を明確にし

た。施設長面談の結果も踏まえて、共通認識で挙げた入浴業務の負担軽減と日々の余暇活動の充実については業務改善に取り組んでいる。今後も個別面談を実施し、また、副主任やフロアリーダーが積極的に面談に関わり、ステーション単位やユニット単位での業務改善にも取り組んでいく。

職員のニーズに合わせて有給休暇の半日休や時間休を多く取り入れるよう呼びかけ、計画的に取得をした。平均取得日数が昨年度10.4日に対して13.5日と増加したが、時間休の平均取得時間は10.3時間から5.9時間と減少した。有休休暇の積極的な取得は継続し、時間休の取得についてもニーズに応じて取得しやすい職場環境を整えていく。

月	行事名	行事内容
4月	花見	悠久山公園へ外出し、観桜した。
6月	バスハイク	花テラスへ外出し、散策した。
7月	七夕会	七夕の飾り付けや記念撮影、おやつ作りを行い、季節感を味わった。
9月	敬老会	各フロアでの表彰式と祝宴を行い、敬老の日を祝った。
10月	秋祭り	職員神輿やカラオケ大会を催し、楽しんだ
11月	文化祭	作品展への出展や作品鑑賞、できたての焼き芋を喫食し、楽しんだ。
12月	忘年会	祝膳やケーキを喫食し、年末の季節感を味わった。
1月	新年会	獅子舞披露、祝膳や季節の和菓子の喫食を通して新年を祝った。
2月	節分会	豆まきを行い、邪気を払って健康を願った。
	お楽しみ会	映画鑑賞会やおやつ・食事作りを通してショートステイ利用者との交流を図った。
3月	ひな祭り	茶菓子を喫食して、ひな祭りを祝った。

② 特養3階

ワーキンググループ別活動報告

(ア) レクリエーショングループ

利用者をグループ分けし、状態に応じたレクリエーションを実施した。また、実施記録表を作成し、月ごとの実施状況が一目で分かるようにした。レクリエーションが実施できていないこともあったため、継続して実施することを課題とし、協議する。

(イ) 接遇グループ

職員を対象にアンケートを実施し、実際に業務内で使われていた言葉遣いをまとめ、振り返る機会を作った。手本にしたい言葉遣いや不適切と思われる言葉遣いを公表したことで各自で接遇を見直すきっかけとなり、改善が見られたという意見も挙げた。今後は家族等と関わる際の接遇や電話対応について学びたいという要望があるため、学ぶ機会を企画する。

(ウ) 入浴・排泄グループ

利用者ごとの入浴形態の適正化、時間ごとの入浴人数の調整を行い、職員・利用者ともに負担なくスムーズに入浴ケアが行えるように取り組んだ。また、排泄ケアではオムツやパッドの見直し、オムツメーカーから正しいおむつの当て方や漏れにくい工夫等を学び、コストカットに努めた。今後は尿量の測定を実施して、根拠に基づいて適正なパッドの使用や交換間隔の見直しを行い、清潔保持とコストカット、業務改善

に取り組む。

(エ) 5Sグループ

アンケートを実施し、より整理整頓の必要性が高かった休憩室の大清掃とサービスステーション内の棚の整理を重点的に行った。今後は各居室の定期的な清掃や手つかずになっている倉庫の整理整頓に取り組みたい。

(オ) 眠りSCANグループ

機器の各種設定方法等をわかりやすく記載したマニュアルを作成し、担当職員以外でも眠りSCANの設定を変更できるようにした。

眠りSCANへのアプローチはワーキンググループとしての活動を終了し、新たにノーリフト介護ワーキンググループを立ち上げて、スライディングボード等の積極的な活用に向けた働きかけや移乗用介護リフトに関する情報発信、ノーリフト介護の学びの場を提供することを目的として活動する。

月	行事名	行事内容
4月	観桜会	越路河川公園へ外出し、観桜した。
5月	お楽しみ会	歌声広場やおやつ会を通して視覚や聴覚への刺激入れと入所者同士の交流を図った。
	バスハイク	花テラスへ外出し、季節を感じた。
6月	おやつ作り	プリンを各々でデコレーションし、おやつに喫食した。
7月	七夕会	七夕の飾り付けや記念撮影を行い、季節感を味わった。
8月	スイカ割り	スイカ割りを楽しみ、おやつに喫食した。
9月	敬老会	各フロアでの表彰式と祝宴を行い、敬老の日を祝った。
	おやつ作り	タコの代わりに具材を入れた、たこ焼き風を作り、できたてを喫食した。
10月	お楽しみ会	歌声広場やおやつ会を通して視覚や聴覚への刺激入れと入所者同士の交流を図った。
	秋祭り	職員神輿やカラオケ大会を催し、楽しんだ
11月	文化祭	作品展への出展や作品鑑賞、できたての焼き芋を喫食し、楽しんだ。
	おやつ作り	施設で取れたサツマイモを使って芋羊羹を作り、おやつに喫食した。
12月	忘年会	祝膳やケーキを喫食し、年末の季節感を味わった。
1月	新年会	獅子舞披露、祝宴で新年を祝った。
2月	節分会	豆まきを行い、邪気を払って健康を願った。
	おやつ作り	お汁粉を作り、おやつに喫食した。
	デザートバイキング	好みのデザートや駄菓子、飲み物を選び、おやつに喫食した。
3月	ひな祭り	甘酒やケーキを喫食して、ひな祭りを祝った。

様々な形式の行事を計画し、楽しんでいただけるように配慮した。また、食事や甘味のテイクアウトも好評なため、月1回を目安に継続して行った。

3 給食の状況

(1) 栄養量(1日当たり)

区分	エネルギー(Kcal)	タンパク質(g)	カルシウム(mg)	脂質(g)
本施設の 基準提供栄養量	1,300	57	600	30
	1,500	66	600	35
	1,700	70	600	45

※3種類の栄養量の食事を用意し、入所者の身体状況に合わせた食事を提供している

(2) 療養食

項目	腎臓食	糖尿食	脾臓食	潰瘍食	心臓病食
人数	0	1	0	0	7

※複数の療養食に該当する場合あり

(3) 行事食状況

年月日	行事名	食事内容
5月5日	端午の節句	ふきご飯、鱈の南蛮漬け、若竹煮、白和え、いちご
7月7日	七夕	七夕そうめん、星型コロケ、糸瓜の和え物、杏仁豆腐
9月18日	敬老会	醤油赤飯、刺身、豚角煮、野菜のゼリー寄せ、芋羊羹
10月1日	秋祭り	新米おにぎり、芋煮汁、のり和え、漬物
12月18日	忘年会	にぎり寿司、茶碗蒸し、お浸し、プリンアラモード
12月31日	年越し	鯛めし、そば入りすまし汁、新巻鮭、天ぷら、もやしと桜エビのさっと煮
1月1日	元旦	ちらし寿司、筑前煮、元旦口取、卵豆腐、栗きんとん
1月11日	新年会	握り寿司、茶碗蒸し、お浸し、ほうじ茶プリン
2月3日	節分	ネギトロ、つみれ汁、大豆とひじきのサラダ、水羊羹
3月3日	ひなまつり	ちらし寿司、はまぐり潮汁、春鰹のたたき、ぜんまいの煮物、ひな祭り三色花ゼリー

② ショートステイ岡南

1 利用状況

(1) 月別利用状況

① 延べ利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和5年度	399	409	415	433	458	423	420	421	411	408	375	425	4,997	416.4
令和4年度	416	422	416	443	435	405	425	325	397	433	401	414	4,932	411.0
令和3年度	437	465	432	457	431	403	438	454	445	441	393	410	5,206	433.8

② 一日平均利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和5年度	13.30	13.20	13.80	14.00	14.80	14.10	13.50	14.00	13.30	13.20	12.90	13.70	13.7
令和4年度	13.87	13.61	13.87	14.29	14.03	13.50	13.71	10.83	12.81	13.97	14.32	13.35	13.5
令和3年度	14.57	15.00	14.40	14.74	13.90	13.43	14.13	15.13	14.35	14.23	14.04	13.23	14.3

③ 平均利用日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和5年度	8.67	8.02	7.98	8.02	7.90	7.98	8.75	7.80	8.56	8.16	7.81	7.87	8.1
令和4年度	8.16	8.79	8.67	9.43	8.70	8.80	8.85	8.55	8.63	9.21	8.35	8.63	8.7
令和3年度	9.10	10.11	9.00	8.46	8.62	8.57	9.32	8.73	8.40	8.65	9.14	8.91	8.9

④ 介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
要支援1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0.16
要支援2	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	2	2	13	1.08
要介護1	7	9	7	8	9	10	8	6	7	6	5	6	88	7.33
要介護2	14	15	17	17	16	14	13	14	12	14	16	19	181	15.08
要介護3	7	9	10	9	10	7	6	11	12	11	11	13	116	9.66
要介護4	9	9	10	11	12	12	12	11	9	12	7	7	121	10.08
要介護5	8	8	7	8	10	9	8	10	7	6	7	7	95	7.91
計	46	51	52	54	58	53	48	54	48	50	48	54	616	51.33
平均介護度	2.93	2.84	2.86	2.88	2.96	2.92	2.97	3.09	2.93	2.95	2.89	2.80	2.92	

(2) 地域別利用状況

	六日市	十日町	阪之上	宮内	四郎丸	富曾亀	豊田	千手	川崎	栖吉	神田	その他	市外	計
令和5年度	13	16	1	33	2	1	4	4	2	2	0	17	1	96
令和4年度	21	8	0	32	1	3	2	3	0	0	0	21	0	91
令和3年度	20	12	1	24	2	2	3	3	0	0	0	13	0	80

2 重点施策

(1) 個別機能訓練加算の算定

個別機能訓練加算の実算定者数目標10名／年に対して、16名／年と目標を達成できた。算定回数は162回／年となり、昨年度より倍増した。利用者の状態に応じて機能訓練の実施を提案したり実績の情報提供を通して希望者を募ったりしたことで利用者が増えたと考えられる。今後も利用者や担当介護支援専門員と連携を図りながら、算定者数や算定回数の増加に向けて取り組む。

(2) 平均稼働率向上のための取り組み

平均稼働率124.1%、平均実利用者数51.3人／月と目標達成に至った。利用日数が多い利用者の長期入所移行により新規利用者が増えたこと、長期入所申込者に短期入所の利用検討を働きかけたことが実利用者数の増加に結び付いた。今後も継続的に取り組むとともに、感染症禍での生活様式の緩和により不定期・単発での利用者も増えているため、定期利用に結び付けられるよう働きかけていく。

(3) 新型コロナウイルス等の感染症対策

感染症を持ち込まないことを第一に、迎え時の検温やマスク着用のお願、到着時の手洗い・うがいの実施といった標準予防策を徹底した。感染症が発生した場合の拡大防止のため、食席のパーティションパネルの設置を継続して行い、短期入所ユニットでの感染症発生及び拡大は生じなかった。新型コロナウイルス感染症の類型変更により、人の流れや感染予防に対する考え方の個人差が大きくなっているため、利用者及び家族等へ感染症対策の協力依頼を継続し、職員自身が持ち込まないよう健康管理や標準予防策を徹底する。

(4) 余暇活動の充実

個人や少人数で行えるレクリエーションを中心に実施したが、バリエーションが少なかった。今後は定期的に内容の見直しを行い、素材やバリエーションを増やしていく。図書コーナーは月1回巡回図書館から小説等を借り、定期的に本を入れ替えたことが読書好きの利用者から好評を得た。より多くの方が本に触れられるよう、ジャンルを増やす等選択肢を広げることも検討したい。

談話スペースの設置については、食席やソファ等で談笑される利用者は見られたが、改めてスペースを設置することができなかった。次年度は設置を再計画する。

(5) 感染症対策を講じた上での行事計画

創作レクや調理レクを月2回計画的に実施し、マスクやディスポ手袋の着用等の感染症対策を講じて行った。創作レクでは、作品を持ち帰ることで家族に活動の様子を伝えるとともに、利用者や家族の会話のきっかけになっていると報告があった。調理レクでは、調理器具に触れることで調理手順を思い出して作業される方が多く、普段とは違った一面を見られた。しかし、行事内容や開催日時の偏りが解消されず、特定の利用者の参加が多くなっている。より多くの利用者が参加できるよう余裕を持って計画を立て、感染症の情勢を鑑みながら外出行事等の再開も検討していく。

(6) 業務改善の取り組み

家族・利用者の理解を得て、2月から荷物チェックを原則廃止とした。特にチェッ

クを希望する方もおらず、事業所・家族双方にメリットのある業務改善であった。荷物チェックを廃止して生じた時間は利用者とのコミュニケーションやレクリエーション等に充てたが、職員によって時間の使い方に差があった。業務改善の目的を明確に示し、サービスの統一・充実を図る。

また、担当者の配置換え等を行い、ショートステイ特有の業務を行える職員を増やしている。異なる業務への理解を深めるため、より多くの職員が関わられるように配慮する。

(7) ハラスメント対策

ハラスメント行為を受けたと感じた場合に、誰に相談し、どのように対応するかをフローチャート化して周知を図った。特定の男性利用者から女性職員に対して不快に感じる性的な発言があったため、事実確認の上で男性職員から当該利用者へ注意喚起を行った事例があった。毅然とした対応により抑止効果は見られているため、事案発生時にはフローチャートに則り対応していく。また、サービス契約書等にもハラスメント行為に対する具体的な対応について明記するよう準備する。

ハラスメント行為は職員間でも生じる可能性があるため、職員間でのハラスメントが発生しないよう啓発を行っていく。

(8) 定期ミーティングの開催

毎月第4水曜日にミーティングを開催し、ケアカンファレンスや業務に関する意見交換等を行った。また、協議内容は議事録の回覧等を通して周知し、ケアの統一を図った。残された課題も少なくないため、定期ミーティングを活用して課題解決に取り組んでいく。

<事故報告状況>

発生状況 \ 発生場所	フロア	居室	トイレ	浴室	計
転倒・転落	7	16	3	0	26
誤薬等	6	0	0	0	6
異食	0	0	0	0	0
傷、表皮剥離	0	0	0	2	2
その他	4	3	0	1	8
計	17	19	3	3	42

利用者のADLや危険認知力の低下に伴い、転倒・転落事故が全報告の6割近くをしめた。また、職員の目が届きにくい居室内での事故が多く、センサーマット等の機器を用いて行動確認や受傷予防を行うケースも増えてきている。

利用者の状態変化を家族や担当介護支援専門員とも共有し、事故発生リスクに理解を得ながら、事故防止・受傷予防に努めていく。

③ デイサービスセンター岡南

1 利用状況

(1) 月別利用状況

① 延べ利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和5年度	575	599	604	618	590	605	656	604	611	556	577	613	7,208	600.66
令和4年度	642	621	599	585	571	557	592	483	539	596	571	578	6,934	577.83
令和3年度	734	732	711	725	718	713	679	677	711	609	504	689	8,202	683.50

② 一日平均利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和5年度	19.20	19.30	20.10	19.90	19.00	20.20	21.20	20.10	19.70	17.90	19.90	19.80	19.69
令和4年度	21.40	20.00	20.00	18.90	18.40	18.60	19.10	16.10	17.40	19.20	20.40	18.60	19.00
令和3年度	24.50	23.60	23.70	23.40	23.20	23.80	21.90	22.60	22.90	19.60	18.00	22.20	22.45

③ 介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
要支援1	2	2	3	3	2	2	4	3	3	3	1	1	29	2.41
要支援2	3	2	3	2	2	2	2	2	2	3	3	3	29	2.41
要介護1	13	15	15	14	15	17	17	15	19	19	19	16	194	16.16
要介護2	29	28	28	26	25	25	27	25	24	24	26	24	311	25.91
要介護3	13	16	15	15	15	16	17	19	18	17	18	17	196	16.33
要介護4	7	7	7	7	8	7	8	8	9	9	9	11	97	8.08
要介護5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	3	55	4.58
計	72	75	76	72	72	74	80	77	79	79	80	75	911	75.91
平均介護度	2.43	2.42	2.41	2.44	2.45	2.40	2.41	2.48	2.39	2.38	2.38	2.45	2.42	

(2) 曜日別利用状況

	月	火	水	木	金	土	日	計	平均
令和5年度	1,039	1,103	1,050	1,131	1,004	957	924	7,208	1,029.71
令和4年度	1,037	961	1,096	1,074	1,007	977	782	6,934	990.57
令和3年度	1,174	1,157	1,278	1,271	1,111	1,175	1,036	8,202	1,171.71

地域別利用状況

	六日市	十日町	宮内	山通	豊田	富尊亀	千手	阪之上	神田	四郎丸	川崎	その他	市外	計
令和5年度	39	26	16	2	0	0	1	0	0	0	0	11	0	95
令和4年度	39	26	18	0	3	0	1	0	0	0	0	15	0	102
令和3年度	49	19	17	0	2	0	0	0	0	0	0	15	0	102

2 重点施策

(1) 安定した事業経営の取り組み

定期的に居宅介護支援事業所や地域包括支援センターへ営業活動・情報交換を行ったが、平均利用者数19.7名、稼働率68.1%、平均実利用者数7.4名、月の平均利用者数600.7名、年間新規利用者数は37名であり、目標数値の平均利用者数25.0名、稼働率86.2%には届かなかった。5月に新型コロナウイルスが5類相当へと変わったが、年間を通じて影響を受けた。特に1月はその影響を受けて大きく利用者数が減少した。次年度はSNS等の新たな営業方法も取り入れ、新規利用者の獲得を目指す。

(2) 自立支援・重度化防止・心身機能維持への取り組み

利用者が住み慣れた在宅での生活を続けるため、自立支援・重度化防止・心身機能維持を目的として個別機能訓練実施に力を入れて取り組んだ。しかし、個別機能訓練算定者は昨年度よりも125名減少し、延べ4,152名となった。今後は在宅での入浴を継続して行えるよう入浴介助加算(Ⅱ)も算定していき、安定した事業経営にも繋げる。

(3) 感染症対策

新型コロナウイルスが5類相当へ変更となったが、標準予防策の徹底と地域や施設内での感染症流行状況の情報収集、共有を継続して行い、感染拡大防止に努めた。利用者や家族の新型コロナウイルスへの意識が徐々に変化していく中で、事業所の受け入れ基準、感染対策を状況に応じて検討していく。

(4) 働きやすい職場作り・人材育成

副管理者と職員の面談内容や日々の職員とのコミュニケーションでの意見を取り入れて業務改善を行い、職員の負担軽減と時間外労働削減を図った。また、職員の長所を引出して業務への意識改革を行うことで、職員同士の声掛けも増えた。今後もコミュニケーションを大切にするとともに、職員同士がお互いを認め合いながら働きやすい職場作りに取り組んでいく。

(5) 安全対策の徹底

危険と感じたらヒヤリハット報告を行い、早急に対策を講じて事故を未然に防げた。事故発生時には原因を多角的に分析し再発防止に努めた。

3 事故報告

発生状況 \ 発生場所	フロア	浴室	トイレ	玄関	その他	計
転倒・転落	7	2		0		9
誤嚥・窒息・異食	3	0	0	0	0	3
薬関係		0	0	0	0	0
傷・表皮剥離・怪我	4		0	0	0	4
その他		0	0	0	4	4
計	14	2	0	0	4	20

事故発生時に事故ミーティングを行い、要因を分析し事故防止対応策を職員間で共有した。また、毎月のミーティングで事故防止対応策の評価、再検討を行い、再発防止に努めた。

4 ヒヤリハット

発生場所 発生状況	フロア	浴室	トイレ	玄関	その他	計
移動・起居動作・移乗	4	4	1	1	2	12
杖・歩行器の不使用	0	0	0	0	1	1
バイタル測定	0	2	0	0	1	3
食事・水分・服薬	9	0	0	0	0	9
送迎	0	0	0	1	4	5
その他	1	0	0	0	1	2
計	14	6	1	2	9	32

食事・水分・服薬に関する事例を含む多くのヒヤリハットが報告された。報告された事例を職員全員で共有し、事故発生を未然に防ぐ取り組みに役立てた。

5 行事

月	日	行事名	内容
4月	11・12	お花見	施設敷地内の桜を鑑賞した。
5月	12・19・26	バスハイク	花テラスへ外出した。
		花壇作り	中庭に花や野菜を植えた。
6月	8・15・22	バスハイク	長岡市立科学博物館へ外出した。
7月	23・24	おやつ作り	あんみつパフェを作った。
8月	7・8	スイカ割り	スイカ割りを職員が行い、おやつに喫食した。
	24・25	夏祭り	縁日として金魚すくいを行い楽しんだ。
9月	19～24	敬老会	喜寿、米寿、白寿等の利用者を発表し、昼食に祝い膳を提供した。
10月	24・31	バスハイク	もみじ園へ外出した。
11月	9・22	文化祭	作品鑑賞や来園した保育園児の歌やダンスを楽しんだ。
12月	18～21	忘年会	塩ちゃんこ・いなり寿司、ちらし寿司を提供した。
	18	年賀状作り	年賀状を作った。
	21	おやつ作り	豆腐白玉ぜんざいを作った。
1月	12	新年会	新年の祝い膳を提供し、ボランティアによる余興等を楽しんだ。
2月	3	節分会	鬼に扮した職員に豆まきをして楽しんだ。
	14・21	外食ツアー	市内飲食店へ外食ツアーを行った。

新型コロナウイルス感染状況を確認しながらバスハイク等の外食ツアーを行った。

④ グループホームこうなん

1 利用状況

(1) 月別入退居状況

		月												計	平均
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
入居	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	女	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	4	0.33
退居	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	女	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	4	0.33
月末入居者数		18	17	18	18	18	18	18	17	17	18	18	18	213	17.75
短期利用		0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0.16
通所利用		1	1	1	1	3	3	3	3	2	2	2	2	24	2.00

※ 通所利用サービス(共用型デイサービス) 利用回数合計 144回

※ 短期利用サービス(ショートステイ) 利用日数合計 33日

(2) 介護度別入居者

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均
R6.3.31	3	4	10	1	0	18	2.50
%	16.7%	22.2%	55.6%	5.6%	0.0%		
R5.3.31	4	7	5	1	1	18	2.33
R4.3.31	4	6	4	3	1	18	2.50

(3) 年齢別入居者

	60	65	70	75	80	85	90	計	平均年齢
	~64	~69	~74	~79	~84	~89	以上		
R6.3.31	0	0	1	0	2	4	11	18	89.0 歳
%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	11.1%	22.2%	61.1%		
R5.3.31	0	0	1	0	2	4	11	18	89.1 歳
R4.3.31	0	0	0	1	2	6	9	18	88.9 歳

2 重点施策

(1) 収益力向上への取り組み

空室期間の短縮を図るため、入居申込者の訪問調査を事前に行うことでスムーズな入居に繋げ、入居率98.4%と目標値の97.4%を達成できた。また、入院中の利用者の空室を利用して短期利用者を受け入れることで、収益向上に繋がった。共用型デイサービスの月の実利用者数は最大で3名、月平均で2名を受け入れたが、稼働率は9.4%にとどまり目標値の35%を達成するには至らなかった。今後も居宅介護支援事業所等への積極的な営業活動や入居申込者へ共用型デイサービスの利用を勧め、

新規利用者の獲得に努めていく。

(2) 利用者のニーズに合わせた個別支援・余暇活動の充実

数字合わせ、漢字合わせ等の脳トレーニング用品や利用者の状態に合わせた創作活動の機会を提供し、屋内での余暇活動を支援した。また、園芸活動や園内散歩で気分転換を図り、健康作りに繋げることができた。

(3) 地域との繋がりの強化

渡沢町と合同で開催していた納涼祭が開催されなかったため、地域住民との交流は限定的であったが、利用者が地域の保育園を訪問し、園児との交流やふれあいの機会を持つことができた。また、2か月ごとに開催している運営推進会議は対面形式での開催が可能となり、地域住民代表の委員から意見を聴取するとともに認知症について説明を行い、理解を深めてもらった。今後も地域の一員として地域貢献に繋がる役割を担えるよう支援に努める。

(4) 家族との繋がり

母の日や敬老の日に開催している昼食会は、感染予防の観点から家族は不参加での開催となった。対面による交流の機会は限定的であったが、オンラインや対面での面会の機会を提供し、家族との繋がり強化に努めた。また、日々の生活の様子をまとめたお便りや行事写真等を家族に送り、利用者の近況報告を毎月行った。今後も家族と情報を共有し、利用者が安心して過ごせるよう連携を図っていく。

(5) 職員の資質向上

外部研修やオンライン研修の受講により職員の資質向上を図った。また、新型コロナウイルス感染症発生時のBCPを策定して内部研修を実施することで、緊急時の備えについて学んだ。今後は研修やシミュレーション訓練を継続的に実施し、BCPの内容について理解を深める機会を設ける。

第三者評価を実施し、評価結果を受け改善点を把握することで、サービスの質の向上に繋がられた。

(6) 働きやすい職場作り

職員への面談を通じて意見や要望を聴取し、正規職員や非正規職員の雇用形態に関わらず率直な意見が言いやすく、意思疎通の図りやすい職場作りに努めた。また、ミーティング等で業務の改善や効率化について話し合い、実践することで時間外労働の削減に努めた。

(7) 非常災害時における対応と利用者の安全確保

夜間帯の火災想定避難訓練に地域住民による自主防災会や消防職員が参加することで、避難誘導の手順や利用者の避難方法、自主防災会との連携の図り方を訓練できた。一方、自然災害のBCPは策定したが研修は実施できていないため、今後は火災想定、土砂災害・水害想定避難訓練に加えて、自然災害のBCPの研修及び机上等でのシミュレーション訓練を実施していく。

3 事故報告・ヒヤリハット

(1) 発生件数

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事故報告	3	3	1	0	1	1	5	2	1	1	0	1	19
ヒヤリハット	4	6	9	9	5	8	6	4	5	9	8	10	83
計	7	9	10	9	6	9	11	6	6	10	8	11	102

皮下出血等の受傷についてのヒヤリハット報告が最も多かった。今後も事故発生を未然に防げるよう、職員ミーティング等で対策について話し合う。

(2) 内容別事故報告件数

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒・転落・尻もち	1	2	0	0	1	1	4	1	1	1	0	1	13
受傷(切り傷・裂傷・剥離・皮下出血)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
服薬	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	4
行方不明(無断外出)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3	3	1	0	1	1	5	2	1	1	0	1	19

転倒・転落・尻もちの事故報告件数が最も多いため、今後もヒヤリハット報告の分析を行い、事故防止策を講じていくとともに、利用者の下肢筋力の維持や向上への取り組みを進める。

⑤ 居宅介護支援事業所岡南

1 居宅サービス計画数(国保連請求分)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和5年度	140	144	139	138	139	139	138	149	152	156	150	153	1,737	144.8
(新規契約件数)	3	8	7	4	5	6	14	1	10	7	7	3	75	6.3
令和4年度	142	134	131	130	135	138	141	143	142	135	137	139	1,647	137.3
令和3年度	145	142	139	139	143	145	146	143	144	145	143	142	1,716	143.0

2 介護予防支援・くらし元気委託料請求件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和5年度	41	39	39	41	42	44	45	48	44	44	44	46	517	43.08
令和4年度	43	43	44	45	43	45	47	46	46	43	43	43	531	44.25
令和3年度	32	34	31	31	32	33	35	37	38	37	39	41	420	35.00

3 長岡市・魚沼市認定調査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和5年度	15	13	10	3	5	9	7	6	6	10	12	6	102	8.50
令和4年度	13	9	13	9	10	8	9	9	10	15	13	9	127	10.58
令和3年度	7	11	9	10	13	13	11	13	12	13	12	11	135	11.25

4 重点施策

(1) 安定的な事業経営への取り組み

居宅サービス計画数(国保連請求分)が1,737件で昨年度実績より90件増加した。介護予防支援は14件減少したが、軽度の利用者の状態が重度化したことや積極的な新規の受け入れにより、昨年度よりも実績を伸ばすことができた。今後も地域包括支援センターや病院への営業活動を行い、1件でも多くの新規受け入れに繋げる。

(2) 提供する居宅介護支援サービスの質の向上と人材育成への取り組み

利用者や家族の要望に応え、困難なケースにも対応できるように外部研修や経験年数に応じた法定研修に参加した。また、様々な事例に対応できるように他法人と共同で事例検討を行い、外部研修に参加することでマネジメントの幅を広げるように努めた。引き続き質の高いケアマネジメントの実施を評価する特定事業所加算(Ⅱ)を堅持し、個々の職員、事業所全体でレベルアップできるように積極的に事例提供を行い、多岐にわたる外部研修に参加していく。

(3) 地域社会との連携

日頃から利用者や家族と信頼関係を構築し、丁寧かつ迅速な対応に努めた。独居、困窮、障碍、虐待等で家族への支援がより顕著に求められる困難ケース等に対し関係機関や多職種と連携して個別の課題に対応した。これからも日頃から社会資源の発掘

と活用、情報収集を心掛け、住み慣れた地域での暮らしを支える。

(4) 明るく働きやすい職場作り

事業所ミーティング、ケースの検討を通して個々が抱える困難な事例、支援内容について意見交換や情報共有を行い、職員が一人で問題を抱え込まず気軽に相談できる環境作りを行った。また、担当職員が不在の場合もサービスが滞り、利用者の生活に支障が出ないように職場内で協力して業務にあたった。今後も、積極的に意見を言える風通しの良い雰囲気作り、やりがいを感じられる職場環境を構築していく。

(5) 危機管理体制の強化

感染症、非常災害のBCPを作成し、見直しを行ってきた。引き続き研修や非常時のシミュレーションを事業所内で実施する。今後も利用者の生命を守り、支援が滞ることのないように速やかに対応できる体制を整えていく。

⑥ ケアハウス岡南

1 利用状況

(1) 月別入退居状況

		月												計	平均
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
入居	男									1	1			2	1.00
	女		1											1	1.00
退居	男												1	1	1.00
	女		1						1	1				3	1.00
月末入居者数		15	15	15	15	15	15	15	14	14	15	15	14	177	14.75

退居者は、死亡退居1名、特別養護老人ホームへ入居1名、ケアハウスでの生活が困難なため病院へ入院と長期のショート利用各1名となった。

(2) 介護度別入居者

基準日	介護度	自立	要支援		要介護				計
			1	2	1	2	3	4	
R6.3.31		5	1	3	2	2	1		14
%		35.7%	7.1%	21.4%	14.3%	14.3%	7.1%	0.0%	100%
R5.3.31		5	1	1	2	3	3		15
R4.3.31		3		2	4	3	3		15

平均介護度は低くなったが、要介護1～3の入居者が全体の35%となっている。

(3) 年齢別入居者

	60 ～64	65 ～69	70 ～74	75 ～79	80 ～84	85 ～89	90 以上	計	平均年齢
R6.3.31	1		1	1	4	3	4	14	86.1 歳
%	7.1%	0.0%	7.1%	7.1%	28.6%	21.4%	28.6%		
R5.3.31			1	1	4	4	5	15	84.9 歳
R4.3.31			2	2	1	6	4	15	86.1 歳

平均年齢は1.2歳上がり、80歳以上の入居者が全体の8割近くを占めている。

2 重点施策

(1) 入居者の生活の質(QOL)の向上

① 相談・助言

生活面や健康面の不安等の相談が増えたことから、今まで以上に入居者一人ひとりの生活状況、身体状況の把握に努め、助言を行った。必要に応じて家族・介護支援専門員とともに対応をした。

② 環境・生活

入居者の高齢化に伴い身体状態が低下し、介護と医療が必要な方が増加している。

可能な限り自立した生活が送れるよう本人や家族、介護支援専門員とともに生活面の配慮や訪問看護、必要な在宅介護サービスの提供、環境整備を行った。

③ 入浴

入浴は毎日提供し、事故防止のため30分毎の巡回を実施した。また、感染症予防と清潔保持のため入浴は一人ずつとし、塩素濃度の測定や浴室、脱衣室の清掃を徹底した。

④ 保健衛生・緊急・災害時対応

定期的な体重・血圧測定や健康相談を行い、入居者の状態把握に努めた。主治医による年1回の特定健診受診を勧め、疾病の早期発見、早期治療に努めた。

新型コロナウイルスの感染は発生しなかった。昨年度は3名の感染者がいたが、衛生管理やうがい、手洗い対応等、家族や医療機関と連携を取りながら感染防止に努め、感染抑制に繋げることができた。

また、災害に備え、入居者が速やかに避難できるように日中・夜間想定避難訓練を行い、防災意識を高めた。

⑤ 介護予防対策

入居者にラジオ体操への参加を勧め、加齢に伴う身体機能低下の予防に努めた。また、健康教室を開催して、病気や認知症予防に関する説明や健康増進の体操を行った。

興味のある行事や余暇・趣味活動への参加を促し、入居者間の親睦を図り、楽しみのある生活を送れるよう努めた。

⑥ 在宅福祉サービスの提供と情報交換

入居者の身体・精神状態に変化があった際は、入居者、家族等の意向を確認した上で、在宅福祉サービスの提供について主治医や担当介護支援専門員と情報交換を行い、適切なサービスの利用提供等、入居者が安心して生活を送れるように努めた。

(2) 入居者の確保、安定した事業運営への取り組み

包括支援センターと居宅介護支援事業所を中心に営業活動を行った。また、老人保健施設や病院等で入居対象となるニーズがあれば営業や訪問調査を行い、各地域の入居希望に関する動向について適宜確認をして新規入居に繋がれるように取り組んだ。問い合わせには丁寧に説明し、コロナ禍であるが希望者には見学対応をした。

急に退居となる方も多く、新規入居者を確保するため今後も地道な営業活動を継続していく。

(3) 職員の資質向上

入居者の状況把握や対応の統一を図るため、連絡ノートの活用や回覧文書で情報の共有を徹底した。また、職員間で話し合いの場を設け、入居者の少しの変化でも気づけるよう医療・介護等の対応について意見交換を行った。

新型コロナウイルスの感染状況についても、日々情報伝達を密にすることを心掛け、職員個々が感染防止への意識を高めるように努めた。

また、オンラインの外部研修への参加を通じて、必要な知識のレベル向上に取り組んだ。

(4) 風通しのよい働きやすい職場作り

年次有給休暇の計画的な取得により、職員の生活の充実や気分転換に繋げることが

できた。日々の業務の中で疑問に思ったことを職員間で話し合い、業務内容を見直す機会を作り、働きやすい環境作りに努めた。

また、入居者の状態変化や新型コロナウイルス感染者の発生に伴う業務負担の改善等について、施設長と職員間で随時情報共有を行い、業務の円滑化の検討や勤務体制の見直し等を含め適宜工夫できる取り組みを行った。

3 事故報告

事故内容 \ 発生場所	浴室	居室	ホール	屋外	その他	合計
転倒	0	0	2	0	0	2
転落	0	0	0	0	0	0
誤嚥	0	0	0	0	0	0
誤薬	0	0	0	0	1	1
その他	1	0	0	0	0	1
計	1	0	2	0	1	4

事故報告の3件は入居者本人に起因する怪我となっており、1件は職員の関与によるもの。

前年度との比較	事故の件数	事故者の人数
令和4年度	3件	3人

4 年間行事状況

月	日	行事名	行事内容
4	6	お花見茶会	天候が悪く屋内で行ったが、窓越しに桜を鑑賞し、茶話会を楽しんだ。
5	18	お取り寄せ昼食会	寿司等の好きな物を注文した。
6	13	バスハイク	希望者を募り、「長岡市立科学博物館」に出かけた。
7	7	七夕	葛切りを用いた夏らしいデザートを食べながら、季節を感じた。
8	18	ミニ納涼祭	手作りのデザートや「長岡甚句」、「大花火音頭」の音楽を流し、お祭りの雰囲気を楽しんだ。
9	18	敬老会	行事食を提供し、職員の余興やスライドショーを観ながら食事を楽しんだ。
9		文化祭作品作り	紙粘土やビーズを使って空き缶を装飾し、「空き瓶デコレーション」を作った。
12	18	忘年会	行事食や余興・スライドショーを観て楽しみながら1年を振り返った。
12		ビーズ暖簾作り	余暇時間を利用し、共同作業で暖簾を作った。
1	11	新年会	祝い膳を食べ、職員の余興やスライドショーを観ながら、新年を祝った。
2	2	節分	節分にまつわるクイズや「豆移しゲーム」を行い、無病息災を祈った。
3	4	ひな祭り	入居者と一緒に団子を作って茶話会で提供し、記念撮影をした。

新型コロナウイルス感染症予防のため、年間行事の中でバスハイク等の回数を減らして実施した。忘年会、新年会は職員の余興で盛り上がり、入居者から楽しんでいただけた。創作行事を通じて共同で作品を仕上げる機会を設け、完成した作品は入居者から喜んでいただけた。

5 趣味活動・余暇活動

回数	曜日等	内容	
週 1 回	金曜	移動スーパー	移動スーパー「とくし丸」来訪により安心してゆったりと買い物ができるようになった。
月 2 回	火曜	買い物	原信旭岡店で買い物をした。
	毎月1日	懇親会	入居者全員が参加し、入居者の意見・要望、職員・入居者間の連絡、ケアハウスの生活について話し合いを行った。
	月末	健康教室	認知症予防のための体操や健康に留意した教室を開催した。
	不定期	おやつ作り	季節を感じられるおやつを作り、茶話会を行った。
	月 末	身体測定	体重、血圧測定を行った。

健康教室では入居者に対し健康増進・認知症予防の講座や体操等を行った。歌声広場は新型コロナウイルス感染症予防のため、年間を通じて実施しなかった。

(2) せったやの郷

① デイサービスセンターせったや

1 利用状況

(1) 月別利用状況

① 延べ利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
令和5年度	527	562	548	514	539	540	536	525	514	470	463	518	6,256	521.33
令和4年度	583	625	583	549	528	562	581	547	455	431	474	527	6,445	537.08
令和3年度	563	595	599	599	585	592	636	628	640	554	514	550	7,055	587.91

② 一日平均利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和5年度	17.6	18.1	18.3	16.6	17.4	18	17.3	17.5	16.6	16.2	16	16.7	17.19
令和4年度	19.4	20.2	19.4	17.7	17.0	18.7	18.7	18.2	15.7	14.4	16.9	17.0	17.77
令和3年度	18.8	19.2	20.0	19.3	18.9	19.7	20.5	20.9	20.6	18.5	18.4	17.7	19.37

③ 介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
要支援1			1	1		1	2	2	2	2	2	2	15	1.66
要支援2	4	5	5	6	7	7	6	6	6	6	6	6	70	5.83
要介護1	16	15	14	13	13	14	14	14	13	13	13	14	166	13.83
要介護2	21	19	16	19	19	21	22	21	23	22	22	23	248	20.66
要介護3	9	11	11	10	7	9	9	9	9	8	8	8	108	9.00
要介護4	5	5	8	7	6	6	5	5	5	4	5	7	68	5.66
要介護5	2	2	1	2	3	3	3	2	2	1	2	2	25	2.08
計	57	57	56	58	55	61	61	59	60	56	58	62	700	58.33
平均介護度	2.16	2.23	2.32	2.33	2.31	2.30	2.26	2.21	2.23	2.12	2.22	2.25	2.24	

(2) 曜日別利用状況

	月	火	水	木	金	土	日	計	平均
令和5年度	956	969	980	887	909	863	622	6,186	883.71
令和4年度	1,026	915	1,041	955	1,056	840	612	6,445	920.71
令和3年度	970	1,075	1,103	1,039	1,029	974	865	7,055	1,007.85

(3) 地域別利用状況

	六日市	十日町	宮内	山通	豊田	千手	阪之上	神田	四郎丸	川崎	下々条	その他	市外	計
令和5年度	3	8	54	1	4	10	0	0	1	0	0	4	0	85
令和4年度	2	10	57	2	5	10	0	1	1	0	0	0	0	88
令和3年度	3	13	58	1	10	9	0	1	1	0	0	0	0	96

2 重点施策

(1) 安定した事業経営のため適正な収益確保

目標数値として平均利用者数21名/日、月間実利用者数80名、月延べ利用者数650名、年間新規利用者数30名と設定し取り組んだが、実績では平均利用者数17.2名/日、月延べ利用者数平均521名、年間新規利用者数26名であり、目標達成には至らなかった。要因として、昨年度同様新型コロナウイルスの影響や各居宅介護支援事業所等からの情報でも、デイサービスの利用より入所系サービスへの需要が多かったことが考えられる。

引き続き居宅介護支援事業所や地域包括支援センターへの営業活動を定期的に行い、当施設の取り組み状況や空き情報、時代に合ったサービス提供ができることを伝え、新規利用者の獲得を目指す。

(2) BCP(事業継続計画)の作成と継続的な感染症予防策の徹底

感染症予防策として手洗い、消毒、マスク着用等を徹底した。また、日々の利用者の体調確認、連絡帳や送迎時等に家族内での感染状況の確認も行った。幸い感染拡大は無く、感染者が確認された際は法人の指針を順守し、迅速に対応した。今後も基本的な感染症予防策の徹底や利用者の日々の体調確認に努め、継続的に事業経営ができるよう取り組んでいく。

(3) 個別機能訓練の質の向上と心身機能の維持

年度末時点で個別機能訓練13名、運動器機能向上訓練5名の利用があった。個別機能訓練者数は昨年度と同じだが、理学療法士等から専門的な知識の下に機能訓練が受けられることもあり、運動器機能向上訓練者が2名から3名増の計5名となった。

利用者や家族のニーズを把握し、一人ひとりの身体状態に合わせた機能訓練等のサービス提供に取り組むことができた。また、定期的にせったや講座を開催し、理学療法士や看護師から体や筋力の働き、健康維持のための助言等を行い、介護予防や筋力低下、重度化防止に努めた。今後も生活に身近な情報や健康へのアドバイスをを行い、在宅生活が継続できるよう取り組んでいく。

(4) 職員が安心して働きやすい職場作り

定期的にミーティングを行い、挙げられた課題について見直しや改善を図ることでサービス向上に努めた。合わせて業務の効率化にも繋げ、時間外労働の削減を目指した。今後も職員間でのコミュニケーションを図り、働きやすい職場作りに努めていく。

3 事故報告

発生場所 事故内容	フロア	浴室	トイレ	玄関	その他	計
転倒・転落	0	0	1	0	2	3
誤薬等	0	0	0	0	0	0
異食	0	0	0	0	0	0
傷、表皮剥離	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	0	0	0	1
計	1	0	1	0	2	4

4 ヒヤリハット

発生状況	発生場所	フロア	浴室	トイレ	玄関	その他	計
入浴・検温		0	0	0	0	0	0
移動		3	1	3	1	2	10
食事・水分・服薬		3	0	0	0	0	3
送迎		0	0	0	0	2	2
その他		5	0	0	0	1	6
計		11	1	3	1	5	21

5 行事

月	行事名	行事内容
4月	お花見ドライブ	施設周辺の散歩や福島江へのドライブで桜を観賞した。
5月	花壇作り・温泉(菖蒲湯)	中庭の畑にサツマイモや花を植えた。季節に合った菖蒲湯入浴を行った。
6月	おやつバイキング	どら焼き作りを通じて、トッピングを選ぶ・作る・食べることを楽しんだ。
7月	七夕会・調理レク	天の川の貼り絵作り、豆腐白玉あんみつ作りを通じ季節を感じた。
8月	せったや祭り	長岡まつりに合わせ8/2・3に夏祭りを行い、祭り気分を味わった。
9月	敬老会・温泉(菊湯)	祝い膳や記念品贈呈、写真撮影を行い、長寿のお祝いをした。
10月	スイートポテト作り	春に植えたサツマイモを収穫してスイートポテトを作った。
11月	文化祭・おやつバイキング	施設内での作品展示、職員による音楽コンサートを行った。おやつ作りではパフェ作りを楽しんだ。
12月	大忘年会・温泉(ゆず湯)	忘年会祝い膳、ゆず湯入浴で季節を感じた。
1月	新年会・温泉(松湯)	祝い膳の提供、白玉お汁粉作り、松湯入浴をした。
2月	節分会	豆まきを行って邪気を払い季節を感じた。
3月	ひな祭り・調理レク	顔パネル写真撮影、雛あられやミニカステラを提供した。

② グループホームせったや

1 利用状況

(1) 月別入退居状況

		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
		入居	男	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
退居	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
	女	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.08
月末入居者数			8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	107	8.91
短期利用			2	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	1.83
通所利用			12	14	14	15	16	11	18	17	8	13	16	14	168	14.00

※通所利用サービス(共用型デイサービス) 利用回数合計 168回

(2) 介護度別入居者

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均
R6.3.31	0	3	5	0	1	9	2.88
%	0.0%	33.3%	55.6%	0.0%	11.1%		
R5.3.31	1	3	4	0	1	9	2.66
R4.3.31	3	4	1	0	1	9	2.11

(3) 年齢別入居者

	60 ~64	65 ~69	70 ~74	75 ~79	80 ~84	85 ~89	90 以上	計	平均年齢
R6.3.31	0	0	0	1	2	3	3	9	86.3 歳
%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	22.2%	33.3%	33.3%		
R5.3.31	0	0	1	0	2	5	1	9	84.9 歳
R4.3.31	0	0	1	0	2	5	1	9	83.6 歳

2 重点施策

(1) 張り合いのある生活、時間の提供

利用者個々の性格に合った家事仕事の提供、塗り絵等の趣味活動を通じて生きがいのある生活が送れるよう支援した。また、お花見やドライブ等の外出行事や近隣の散歩等をこまめに行い、利用者の方々に喜ばれた。

(2) 安定した収入確保への取り組み

入居1名、退居1名、入院される利用者も少なかったことで入居率は99.1%と目標値を上回った。一方で共用型デイサービスは稼働率21.9%と目標値には届かなかった。

次年度は介護報酬改定に伴い、収入確保のため新たな加算算定に努める。

(3) 地域との結び付きの強化

新型コロナウイルス感染症の5類移行や感染状況の落ち着きに伴い対面での運営推

進会議を再開し、地域代表や家族代表の方々から意見をいただいた。また、近隣の小学校へ職員が訪問し、介護についての総合学習を実施したり、来園した児童が楽器演奏を披露したりと交流も再開した。

(4) 家族との交流、結び付きの強化

昨年度に引き続き家族参加行事は開催できなかったが、感染状況が落ち着いてきたことで対面面会を実施した。対面面会にて家族との交流の機会を持って、利用者も大変喜ばれた。また、家族対応の受診によりコミュニケーションの機会を提供できた。

(5) 職員が働きやすい環境作り

年度初めに職員から受講希望の研修の聞き取りを行った。希望の研修に参加し、得た知識を業務に取り入れて実践することで意欲向上に繋げた。また、職員個々の多様性を受け入れ、ミーティング等を通じて職員全員で意見を出し合える機会を作り、チームとしての能力向上に努めた。

(6) BCP(業務継続計画)の作成と危機管理体制の強化

感染症、自然災害の発生時におけるBCPを作成した。日常業務の中でBCPの内容で気づきがあれば反映するように心がけた。

防災訓練は日中と夜間の火災を想定して実施した。コロナ禍のため地域の防災関係者を交えた訓練は実施できなかったが、消防署員に立会協力を求めて指導を受けた。その他、水害想定避難訓練をデイサービスせったやと共同で実施し、職員の動きを確認できた。

3 事故・ヒヤリハット報告

(1) 発生件数

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
事故報告	2	5	1	1	0	0	1	2	4	1	3	4	24
ヒヤリハット	3	1	0	0	3	6	3	0	2	1	7	0	26
計	5	6	1	1	3	6	4	2	6	2	10	4	50

(2) 事故報告発生内容

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
転倒	1	3	0	1	0	0	0	1	2	0	2	1	11
行方不明(無断外出含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
服薬	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
異食	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	0	1	1	0	0	0	1	1	2	1	1	2	10
計	2	5	1	1	0	0	1	2	4	1	3	4	24

(3) 看護室

1 重点施策

(1) 看護の資質向上

- ① 介護職員の特定行為業務従事者に再指導し、医師・他職種と連携して経管栄養の手技を一部介護職員へ移行した。これまで有資格者が経管栄養の手技を実践する機会が無かったため、業務効率の改善と資格の有効活用、技術の定着・向上に結び付いた。
- ② コロナ禍で研修等への参加が難しかったため、次年度は積極的に看護協会等の研修に参加し、個々の資質向上に努めるとともに研修で得た知識・技術を復命し、チーム力の向上に繋げていく。
- ③ 新たに看護手順マニュアルを作成し、統一した看護の提供に取り組んだ。新人職員の指導にあたりプリセプター制度を導入し、指導者を定めることで統一した業務指導が可能な半面、指導する側へのフォロー体制や指導方法の課題も見られた。次年度は再度課題解決に取り組み、指導力の向上に努める。
- ④ 月1回看護職員全員で看護ミーティングを開催した。改善したいことや不安、疑問に思っていることをディスカッションし、個々の意見を出し合って業務の統一や課題解決へと繋げた。次年度も継続し、協議内容によっては施設長等の第三者に意見を求め、業務改善に努める。
- ⑤ 災害発生時に最低限必要な物品や持ち出すものの確認、不備・不足がないよう備品管理に努め、不測の事態に備えた。今後も定期的な確認を行っていく。
- ⑥ 感染症罹患者は数名発生したが、嘱託医との迅速な連携や検査の実施、拡大防止策を講じて最小限に抑えることができた。今後も感染症対策の継続は必須であり、速やかな初動対応が取れるよう判断・指示を行う。

(2) 利用者の健康管理

- ① ケアカンファレンス等で利用者の体調や皮膚状態、食事摂取状況等の情報を共有し、嘱託医へ回診やチャットでの状態報告、画像を使用した情報提供により連携を図った。また、必要に応じて外部の専門科への受診に同行する等の対応をした。
- ② 主に感染対策委員会と連携し、職員の感染予防について助言をした。また、情勢に応じて嘱託医に意見を求め、対応の協議の参考となるよう情報提供をした。
- ③ 終末期や体調変化時は嘱託医と相談し、インフォームドコンセント、アドバンスケアプランニングにより、本人の意思・家族の気持ちに寄り添った看護や介護の提供に繋げ、スムーズな看取り介護への移行やケアに結び付いた。
- ④ フェニックスネットワークへの情報登録を通じて嘱託医への情報提供や共有をし、速やかな医療連携を図れた。今後は二次救急の場面でも対応ができるように準備を進めていく。

第3 苦情受付状況

1 事業所別苦情受付件数

事業所名		件数
本部		0
岡南の郷	特別養護老人ホーム岡南の郷	1
	ショートステイ岡南	1
	デイサービスセンター岡南	0
	グループホームこうなん	0
	居宅介護支援事業所岡南	0
	ケアハウス岡南	0
	小計	2
せったやの郷	デイサービスセンターせったや	0
	グループホームせったや	0
	小計	0
合計		2

2 苦情申出人の要望 (複数回答有)

要望	件数
改めてほしい	1
回答がほしい	0
話を聞いてほしい	1
調査してほしい	0
その他(面会回数が少ない)	1
計	3

3 苦情申出人より第三者委員への報告

報告	件数
必要あり	0
必要なし	2
計	2

4 苦情内容と発生原因

苦情内容	発生原因
面会体制について	感染症対策による面会機会の減少
送迎時の態度について	職員の認識不足

5 今後に向けて

苦情の発生原因は、感染症対策による面会機会の減少や職員の認識不足が挙げられる。苦情の申出があったときは、事実関係を確認した上で説明・謝罪等を行い、迅速な対応に努めた。同様のことを繰り返さないために、当該事業所に限らず法人内において注意喚起を行った。

苦情再発防止のため、管理監督者が職員への指導・教育を徹底するとともに、研修に積極的に参加し、接遇マナーや技術の向上を図る。また、各事業所で実施しているミーティング等で事例や予防策についての情報共有を徹底し、苦情ゼロを目指す。

第4 研修の状況

1 階層別研修

期間(自)	期間(至)	研修の名称	実施団体	開催地	人数	事業所
6月14日	9月1日	令和5年度第1回新潟県認知症介護実践者研修	新潟県高齢福祉保健課	上越老人福祉協会 はさ木研修センター	1	特養
6月23日		福祉職の接遇マナー研修 ～安心感を与える職員になる～	(福)新潟県社会福祉協議会	新潟ユニゾンプラザ	1	特養
6月29日		チームビルディング研修 ～強い組織を作るために取り組むこと～	(福)新潟県社会福祉協議会	新潟ユニゾンプラザ	1	特養
7月21日		リーダーコミュニケーション研修 ～組織の不安を解消する～	(福)新潟県社会福祉協議会	新潟ユニゾンプラザ	1	特養
7月25日		より良い職場づくりのための業務改善研修 ー新潟県委託研修ー	(福)新潟県社会福祉協議会	新潟ユニゾンプラザ	1	特養
8月28日		リーダーシップ研修 ～職員から信頼されるリーダーになるには～	(福)新潟県社会福祉協議会	Web研修	1	GHこうなん
9月4日	10月20日	令和5年度新潟県認知症介護実践リーダー研修	新潟県高齢福祉保健課	(福)長岡三古老人福祉会 研究・研修センター長岡	1	特養
9月11日		気づく力研修 ～中堅職員に求められること～	(福)新潟県社会福祉協議会	Web研修	2	特養
9月22日		コンフリクトマネジメント研修 ～組織の成長を促す職員になるために～	(福)新潟県社会福祉協議会	新潟ユニゾンプラザ	1	特養
9月27日	9月28日	第27回新潟県老人福祉施設研修大会	(一社)新潟県老人福祉施設 協議会	ハイブ長岡	1	特養
10月11日		令和5年度長岡市居宅介護支援事業所・地域密着型 サービス事業所合同管理者研修会	長岡市介護保険課	Web研修	1	居宅
10月11日		令和5年度長岡市居宅介護支援事業所・地域密着型 サービス事業所合同管理者研修会	長岡市介護保険課	Web研修	1	GHこうなん

期間(自)	期間(至)	研修の名称	実施団体	開催地	人数	事業所
10月11日		令和5年度長岡市居宅介護支援事業所・地域密着型サービス事業所合同管理者研修会	長岡市介護保険課	Web研修	1	GHせったや
10月13日		第3ブロック部会令和5年度研修会	(一社)新潟県老人福祉施設協議会	燕三条地場産業振興センター リサーチコア	1	特養
10月18日		伝える力研修～福祉職員に求められるコミュニケーション力～	(福)新潟県社会福祉協議会	Web研修	1	特養
10月20日		コーチング研修	(福)新潟県社会福祉協議会	新潟ユニゾンプラザ	2	特養
11月12日		災害にも強い事業所づくり 「BCP研修会」通所施設のBCPを考える	(公社)新潟県社会福祉士会	Web研修	1	デイ岡南
11月14日		モチベーションアップ研修 ～福祉職のためのモチベーションマネジメント～	(福)新潟県社会福祉協議会	Web研修	1	GHこうなん
11月17日		課題別オンラインセミナー 介護現場における「働き方改革・多様な働き方」について考える	(特非)日本介護支援協会	Web研修	1	特養
12月1日		ストレスマネジメント研修	(福)新潟県社会福祉協議会	新潟ユニゾンプラザ	1	GHせったや
12月7日	2月1日	令和5年度第2回認知症介護実践研修(実践者研修)	(公社)日本認知症グループホーム協会	燕三条地場産業振興センター リサーチコア	1	デイ岡南
12月7日	2月1日	令和5年度第2回認知症介護実践研修(実践者研修)	(公社)日本認知症グループホーム協会	燕三条地場産業振興センター リサーチコア	1	デイせったや
12月15日		令和5年度管理者研修会	(一社)新潟県老人福祉施設協議会	Web研修	1	特養
12月15日		令和5年度管理者研修会	(一社)新潟県老人福祉施設協議会	Web研修	1	デイ岡南
12月15日		令和5年度管理者研修会	(一社)新潟県老人福祉施設協議会	Web研修	1	居宅
12月15日		令和5年度管理者研修会	(一社)新潟県老人福祉施設協議会	Web研修	1	デイせったや

期間(自)	期間(至)	研修の名称	実施団体	開催地	人数	事業所
2月5日	2月6日	令和5年度第2回新潟県認知症対応型サービス事業管理者研修	新潟県高齢福祉保健課	(福)長岡三古老人福祉会 研究・研修センター長岡	1	GHこうなん
2月15日	2月28日	第5ブロック部会令和5年度第2回研修会 「1on1 ミーティング」	(一社)新潟県老人福祉施設 協議会	Web研修	1	特養
3月5日		介護現場における生産性向上推進フォーラム	厚生労働省	Web研修	4	特養
小計		29			34	

2 職種別専門研修

(1) 看護職員

期間(自)	期間(至)	研修の名称	実施団体	開催地	人数	事業所
11月18日		看護師職能 I・II 合同研修会 「高齢者への意思決定支援の在り方」	新潟県看護協会長岡支部	長岡福祉協会	1	デイせったや
1月31日		令和5年度医療的ケア教員・指導看護師講習会	ケアサポート長岡教育センター	ケアサポート長岡 教育センター	1	特養
小計		2			2	

(2) 生活相談員

期間(自)	期間(至)	研修の名称	実施団体	開催地	人数	事業所
4月12日	4月25日	令和5年度事業者支援セミナー 「知らなかったではすまされない！～個人情報管理イロハのい～」	(公財)介護労働安定センター新潟支部	Web研修	1	特養
小計		1			1	

(3) 機能訓練指導員・介護職員

期間(自)	期間(至)	研修の名称	実施団体	開催地	人数	事業所
7月2日		介護職のためのアンガーマネジメント研修 ～感情をコントロールする～	(福)新潟県社会福祉協議会	Web研修	1	GHせったや
7月19日		介護記録の書き方研修～実務に活かす記録の書き方～	(福)新潟県社会福祉協議会	Web研修	1	特養
7月19日		介護記録の書き方研修～実務に活かす記録の書き方～	(福)新潟県社会福祉協議会	Web研修	1	GHせったや
7月28日		フィジカルアセスメント研修 ～介護現場で活かすフィジカルアセスメント～	(福)新潟県社会福祉協議会	Web研修	2	特養
8月5日	10月7日	令和5年度 喀痰吸引研修	ケアサポート長岡 教育センター	ケアサポート長岡 教育センター	2	特養

8月18日	8月31日	令和5年度短期専門講習 「看取り 老いを支える・看取りを支える介護」	(公財)介護労働安定センター新潟支部	Web研修	2	特養
8月29日	9月11日	第5ブロック部会令和5年度第1回研修会 「介護に役立つ薬の知識」	(一社)新潟県老人福祉施設協議会	Web研修	2	特養
9月20日		令和5年度短期専門講習 「介護現場における口腔ケア」	(公財)介護労働安定センター新潟支部	新潟県健康づくり・スポーツ 医科学センター	1	特養
10月13日	10月26日	令和5年度短期専門講習 「認知症の方への介護技術」	(公財)介護労働安定センター新潟支部	Web研修	1	特養
10月26日		令和5年度短期専門講習 コミュニケーションで大切なこと 「聴く力」を育てる研修	(公財)介護労働安定センター新潟支部	Web研修	1	特養
12月8日	12月21日	令和5年度短期専門講習 「介護現場で役に立つ介護職のための薬の知識」	(公財)介護労働安定センター新潟支部	Web研修	1	特養
12月8日	12月21日	令和5年度短期専門講習 「介護現場で役に立つ介護職のための薬の知識」	(公財)介護労働安定センター新潟支部	Web研修	1	GHこうなん
12月10日		中越ブロック 介護技術研修 「これで良いのか介護技術」拘縮編	(公社)新潟県介護福祉士会 中越ブロック	長岡介護福祉専門学校あゆみ	2	特養
1月24日		令和5年度短期専門講習 「介護のための医学の基礎」	(公財)介護労働安定センター新潟支部	Web研修	1	GHこうなん
3月13日	3月25日	令和5年度事業者支援セミナー 「介護現場のリスクマネジメント ～多職種での情報共有をどう進めるか?～」	(公財)介護労働安定センター新潟支部	Web研修	1	GHせったや
小計			15		20	

(4) 介護支援専門員

期間(自)	期間(至)	研修の名称	実施団体	開催地	人数	事業所
5月12日	5月25日	令和5年度事業者支援センター「真面目で優秀な職員がハラスメントで燃え尽きないための3つの方法」	(公財)介護労働安定センター新潟支部	Web研修	1	居宅
5月25日		令和5年度第1回在宅医療・介護連携に向けた多職種勉強会 「身寄りがない人の支援を考える」	長岡市医療・介護連携推進センター(長岡市医師会) 長岡市長寿はつらつ課	さいわいプラザ	3	居宅
7月15日		令和5年度第1回定期研修会「長岡市パーソナル・サポート・センターの活動紹介」～生活全般における課題について考える～	長岡地域介護支援専門員協議会	栃尾地域交流拠点施設トチオーレ	5	居宅

8月18日	8月31日	令和5年度短期専門講習 「看取り 老いを支える・看取りを支える介護」	(公財)介護労働安定センター新潟支部	Web研修	1	居宅
9月9日		生活支援体制整備事業市民セミナー「なぜ、日本人は協力しなくなったのか～社会心理学から学ぶ、令和の地域づくり～」	長岡市 長岡市社会福祉協議会	長岡リリックホール	1	居宅
9月22日		令和5年度認知症地域フォーラムin長岡 「ともにいい日、いい人生を～認知症になってからも、住み慣れた地域で～」	長岡市	中之島文化センター	4	居宅
10月2日		令和5年度キャラバン・メイト養成研修	新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部	さいわいプラザ	1	居宅
10月3日		地域別多職種交流会 「障がいと高齢の連携について」実践編	長岡市地域包括支援センター みやうち・やまこし	高齢者センターみやうち	2	居宅
10月27日		令和5年度 施設介護支援専門員研修会	(一社)新潟県介護支援専門員協会	新潟ユニゾンプラザ	2	特養
11月6日	11月29日	令和5年度新潟県介護支援専門員「更新研修・専門研修」 (専門研修課程Ⅱ)	(一社)新潟県介護支援専門員協会	Web研修	1	居宅
11月9日		令和5年度新潟県介護支援専門員実務研修実習指導者事前研修	(一社)新潟県介護支援専門員協会	Web研修	1	居宅
11月17日	11月30日	第1ブロック部会令和5年度第2回研修会 「LIFEフィードバックを活用したケアプラン作成について」	(一社)新潟県老人福祉施設協議会	Web研修	2	特養
12月15日		令和5年度 介護サービス研修会 「高齢者虐待の気づきと対応～これって虐待？いつ相談する？～」	地域法支援センターみやうち・やまこし	さいわいプラザ	1	居宅
12月21日		令和5年度第2回在宅医療・介護連携に向けた多職種勉強会	長岡市医療・介護連携推進センター(長岡市医師会) 長岡市長寿はつらつ課	ハイブ長岡	4	居宅
1月13日		令和5年度第2回定期研修会 「インフォーマルサービスの活用について」	長岡地域介護支援専門員協議会	ダイエープロビスフェニックスプール	2	居宅
2月21日		令和5年度第2回福祉関係者向け成年後見制度研修会	長岡市成年後見センター	長岡市社会福祉センタートモシア	1	居宅
小計		16			32	

(5) 事務員 ・ 栄養士

期間(自)	期間(至)	研修の名称	実施団体	開催地	人数	事業所
10月6日		令和5年度 生産性向上支援訓練「介護職における災害時のリスク管理と事業継続計画」	(公財)介護労働安定センター新潟支部	Web研修	1	法人本部
12月5日		新任衛生管理者実務セミナー	(一社)新潟県労働衛生医学協会	新潟テルサ	1	法人本部
2月19日	3月8日	社会福祉法人会計基準実践的基礎講習～正しい理解と運用を～会計実務担当のスキルアップ!	(公社)全国老人福祉施設協議会	Web研修	1	法人本部
2月27日		令和5年度特定給食施設等(病院・高齢者入所施設)対象の衛生管理及び栄養管理に関する研修会	新潟県長岡地域振興局健康福祉環境部	Web研修	2	法人本部
3月1日		化学物質管理者講習～リスクアセスメント対象物質の製造事業場以外の事業場対象～	(一社)新潟県労働衛生医学協会	燕三条地場産業振興センター	1	法人本部
小計		5			6	
職種別専門研修 合計		39			61	
総合計		68			95	